

English follows Japanese

創世記 21 章 8-21 節 疎外された者と神

国連の UNHCR (UN High Commission on Refugees-国連難民高等弁務官事務所)によりますと世界には 2600 万人の難民がいるそうです。戦争、飢饉、政治不安定など理由は実に様々ですが、彼らには家も国もありません。皆さまは難民ではないかもしれませんが、様々な形で疎外感を感じているかもしれません。家族から、職場から、人生の中におけるあらゆる関係の中で崩壊していると感じているかもしれません。創世記 21 章においてアブラハムを取り巻く環境を見て行きますが、第一子であるイシュマエルに再度焦点を当てて、アブラハムとサラが自らの手で神の計画を成就させようとしてしまった代償を検証していきます。そして今日は追放された二人への神様のケアを見て行きます。祈って今日の個所を見て行きましょう。

まずはアブラハムの二人の息子が生れた経緯を振り返ってみましょう。アブラハムが 86 才の時、イシュマエルは正妻サラの召使いハガルから生まれました。神が約束された子供がなかなか出来ず、サラはアブラハムに召使いを代理母として差し出して神の計画を成就させようとしてしました。アブラハムが 100 才となった 14 年後、約束された息子イサクは奇跡的に 90 才のサラから生まれたのです。8 節ではすでにイサクが生まれて数年経っていますが、まず 8-9 節を読みましょう。**8.その子は育て乳離れした。アブラハムはイサクの乳離れの日に、盛大な宴会を催した。9.サラは、エジプトの女ハガルがアブラハムに産んだ子が、イサクをからかっているのを見た。**この時代子供が離乳するのは 2~3 才の時でしたので、イシュマエルは 16-17 才と推測されます。イシュマエルがからかっていたとありますが、幼子であるイサクは自身に何がされているかも分からなかったのでしょうか。

使徒パウロはこの状況についてイシュマエルがイサクを迫害していると理解しました。キリストを信じるのがハガルとイシュマエルが家を追い出される例と併せています。ガラテヤ人への手紙 4:28-31 28.兄弟たち、あなたがたはイサクのように約束の子どもです。29.けれども、あのとき、肉によって生まれた者が、御霊によって生まれた者を迫害したように、今もそのとおりになっています。30.しかし、聖書は何と言っていますか。「女奴隷とその子どもを追い出してください。女奴隷の子どもは、決して自由の女の子どもとともに相続すべきではないのです。」31.こういうわけで、兄弟たち、私たちは女奴隷の子どもではなく、自由の女の子どもです。今日の個所をとおして神様はキリストと歩む者としてイサクと共鳴するべきと書いています。我々がイエス・キリストを信じることによって神に受け入れられ神の家族の一員となりました。ハガルとイシュマエルがアブラハムにより一族から追放されたのとは違い、神様は絶対にそのような事はしません。我々は承継者として選ばれ、神により受け入れられた事が約束されています。このガラテヤ人への手紙でパウロが伝えている趣旨とは、神により受け入れられるのは律法を遵守したり日々の行いによるのではなく、すでにキリストの十字架で完了している行いと、そのキリストを信じての救い主として受け入れられていることを伝えたいのです。新約聖書ではここで迫害されたイサクに共鳴するべきと記していますが、自分たちはむしろハガルとイシュマエルが創世記 21 章で体験する話に寄り添いたくなります。

引き続き 10-14 節を読んで、ハガルとイシュマエルが迫害される状況を見て行きたいと思えます。**10.それで、アブラハムに言った。「この女奴隷とその子を追い出してください。この女奴隷の子は、私の子イサクとともに跡取りになるべきではないのですから。」11.このことで、アブラハムは非常に苦しんだ。それが自分の子に関わることだったからである。12.神はアブラハムに仰せられた。「その少年とあなたの女奴隷のことで苦しんではならない。サラがあなたに言うことはみな、言うとおりに聞き入れなさい。というのは、イサクにあって、あなたの子孫が起こされるからだ。13.しかし、あの女奴隷の子も、わたしは一つの国民とする。彼も、あなたの子孫なのだから。」14.翌朝早く、アブラハムは、パンと、水の皮袋を取ってハガルに与え、彼女の肩に担がせ、その子とともに彼女を送り出した。それで彼女は行って、ベエル・シェバの荒野をさまよった。**サラの反応は普通の母親の通りです。愛息子イサクを守る一心でハガルに憤りを感じます。また忘れていけないのは、出産したあとハガルは主人であるサラを軽んじたのです。今回はハガルだけではなく、イシュマエルも自分の子供をいじめたのですから、厳しい内容ではありますが、一定の理解できるリアクションではあります。とにかくサラは、イシュマエルとその母親を一族から追い出して、アブラハムの遺産を相続する可能性から排除したいのです。

しかしアブラハムは第一子であるイシュマエルを愛しています。自らの手で追い出すことはしたくありません。しかしこの場面で神は妻の要望を聞き入れて追放するように言います。神様はこの行動を承認します。なぜならイサクとその子孫を通してアブラハムに約束された計画を全うさせるといのは、神ご自身の権威であるからです。アブラハムがとサラがどんな近道を自らの計

画にて試みようとして、イサクの子孫を経由するのがご計画でした。しかし神様がアブラハムに直接語りかけて妻の言うとおりにするようとの指示をする時から、追放されようとする子供に対するケアがすでに始まっています。創世記 17 章でハガルとアブラハムに約束された内容の通りイシュマエルが一つの国民となることを繰り返します。イサクが生れるまでの経験から、アブラハムはこれが神による約束であり、イシュマエルとハガルが生かされることを知ります。そのため彼はサラの言う通りにしますが、サラが抱いた怒りとは違う感情でハガルとイシュマエルを追放します。

ここでアブラハムは「彼女を送り出した」とありますが、これはサラの「追い出してください」という要望とは大きく異なります。アブラハムはサラの憤りではなく、神の指示を信頼してイシュマエルが偉大な国民になる約束に基づいてその通り送り出します。実際にこの約束への信頼と神様が二人に必要なものをお与えになるという確信は、アブラハムが最小限の食料と水を持たせて送り出した点でも見受けられます。荒野に送り出すなど、神様がこの未成年の少年と母親を守らない限り無理であります。そしてこの限られた食料はすぐ底をつきます。15-16 節では：15. 皮袋の水が尽きると、彼女はその子を一本の灌木の下に放り出し、16. 自分は、弓で届くぐらい離れた向こうに行って座った。「あの子が死ぬのを見たくない」と思ったからである。彼女は向こうに座り、声をあげて泣いた。

この場面で我々はいかに追放されたこの二人が絶望的な状況であったかを目のあたりにします。彼らは水も生き残る希望も無い状況で荒野にいます。一見、ハガルがイシュマエルを幼子のようにあつかっているかと思いがちですが、まだ未成年です。しかしティーンエイジャーで幼子ではないと言っても、この時点では何の力にもなれませんし、母親としては息子の死ぬ姿など見たくありません。砂漠地方で、のどの渇きと栄養失調で死ぬのはだいたい 10 日と言われています。この時点で二人とも弱まっており、すでに身動きも取れないほどの状態だったのでしょう。正に Hopeless - 絶望的な状況でした。我々が肉体的にこのような極限状態にはならないでしようが、感情的にメンタルには同じような状況にはなり得ます。我々が置かれる様々な状況から人生において「追い出された」絶望的な状況を体験します。しかしこのような極限な状況において我々はハガルと同じ経験をすることができます。。。神様が祈りに応えて約束を守ってくださるので

17-19 節を読みます。7. 神は少年の声を聞かれ、神の使いは天からハガルを呼んで言った。「ハガルよ、どうしたのか。恐れてはいけない。神が、あそこにいる少年の声を聞かれたからだ。18. 立って、あの少年を起こし、あなたの腕でしっかり抱きなさい。わたしは、あの子を大いなる国民とする。」19. 神がハガルの目を開かれたので、彼女は井戸を見つけた。それで、行って皮袋を水で満たし、少年に飲ませた。神様はハガルの祈りを聞いたのです。イシュマエルが泣いていたとは書かれていませんが、どうもそうだったようです。ギリシャ語版の旧約聖書においては 16 節にはイシュマエルが声を挙げ泣いたと書いています。ポイントは、神様が自分の民が困難にある時の祈りの声を聴くということです。詩篇 34:18 では、主は心の打ち砕かれた者の近くにおられ、霊の砕かれた者を救われる。とあります。イシュマエルを通してメシアをこの世に送ることがご計画ではなかったのと同じく、彼が守っていた母親と少年の命をも放棄はしませんでした。神様はアブラハムの祈りと同じように二人の祈りを聞きました。神様はそこで終わりませんでした。「聞かれ」た次のアクションは目を「開かれ」たのでした。すでにお与えた井戸を目で見えるようにしたのでした。このベルシェバという地域ですが、「ベル」というのはヘブライ語で井戸を指します。アブラハムとサラはハガルとイシュマエルを見捨てて追い出したかもしれませんが、神様にとっては追放された者ではありませんでした。すでに井戸をお与えになり、単純にその与えられたものが見えるよう目を開けたのでした。

もちろんハガルはこれら体験を楽しんだはずがありません。親族にせよ社会のグループから疎外されるような経験はしたくありません。しかし聖書が明確にしているのは、クリスチャンであることは世の中から受け入れられず迫害されることがクリスチャンの生活の当然の一部なのです。ヨハネの手紙 第一 3 章 13 節には「兄弟たち。世があなたがたを憎んでも、驚いてはいけません。」とありますし、テモテへの手紙 第二 3 章 12 節には「キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。」とあります。マルコの福音書 13 章 13 節には「また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人

は救われます。」しかしながら、このハガルとイシュマエルの話のエンディングで分かるように、神様がお見捨てになることはありません。20-21 節 20.神が少年とともにおられたので、彼は成長し、荒野に住んで、弓を射る者となった。21.彼はパランの荒野に住んだ。彼の母は、エジプトの地から彼のために妻を迎えた。ハガルとイシュマエルは唯一の肉親の家族であるアブラム一族に戻る事なく、疎外されたままだったようです。しかし神様はこの追放された二人と共にありました。歴史上、イシュマエルの子孫はアラブ諸国となり、イスラム今日のコーランではユダヤ教とキリスト教での内容よりもイシュマエルをより高い地位として描いています。彼らの子孫はこの神を受け入れなかったかもしれませんが、家族をはじめ彼らを取り巻く環境の全て拒絶して追い出した時、イシュマエルとハガルは神様の存在と恵みがパーソナルに、直接に、彼らを保ったのです。

今日あなたが現在人生でどの様な状況にあろうと、どんな扱いを受けて、どんなに疎外されていようと、あなたにも神様が共にいらっしやいます。旧約聖書の預言書ゼパニア 3:17 には神様の美しい癒しと希望が描かれています「あなたの神、主は、あなたのただ中であって救いの勇士だ。主はあなたのことを大いに喜び、その愛によってあなたに安らぎを与え、高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる」神様はあなたがいるその場にいます。あなたがどんなに大変なことを今経験していようと、そこから救い出す力をお持ちです。彼の被造物として自身に似て創られたあなたが喜びでたまりません。周りからどんな仕打ちを受けていてもです。神はあなたを癒し怒りをおさめてくださり、完璧なお父さんのように愛のぬくもりで包み込んでくださいます。そして我が子を誇る父親として、あなたを疎外する人たちが聞こえるように、惜しみなく声をだしてあなたへの愛を宣言します。神様があなたを取り巻く環境として望み与えたいのはこれです。そして父なる神との関係はその子イエス・キリストを通してのみ可能なのです。ローマ人への手紙 5章8節には十字架での死についてこう書いています「しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれたことによって、神は私たちに対するご自分の愛を明らかにしておられます。」神様はあなたを愛されて、あなたと父子の関係になりたいと望んでおります。神様は、自らの子イエス・キリストをあなたの代わりに十字架につけられ、あなたと私の罪を自らで背負い、罪に対する制裁である死という罰を代わって引き受けたてくださいました。そして今日我々は毎月聖餐式を共にして、霊的に食卓をキリストの兄弟姉妹と囲んで食します。今回もすでに梱包されているパンとぶどうジュースを共に食しますが、ディーコンがジュースとパンを各コーナーで配りますのでそれをまず受け取り、それぞれの席に戻りましたら一緒に祈りを捧げて食しましょう。もしイエス・キリストをご自身の救い主として、聖典に従いバプテスマを受けている方をお招きします。親として子供に主の晩餐の重要性を教える最も良い方法は、まだ準備できていない者には参加を遠慮してもらうことです。祈ってキリストの死を覚え心を一つにしましょう。

Genesis 21:8-21 God's care for those cast out

According to the UN High Commission on Refugees, there are roughly 26 Million refugees around the world. These people are without homes or in many cases countries because of war or famine or political instability or any number of other reasons. While you may not be a refugee, you may feel like a person who has been cast out of your family, your workplace, or social group because of dysfunctional relationships in any of those spheres of life. As we continue to look at what takes place in the life of Abraham in Genesis 21, today we come back to his first son, Ishmael, and continued problems that came from Abraham and Sarah's attempt to fulfill God's plan through human means. And in this story of two outcasts we see God's care for those cast out. Let's pray and get into our text for today.

Just to remind you what led up to the birth of Abraham's two sons. When Abraham was 86 years old, Ishmael was born to Abraham's wife Sarah's servant Hagar. Sarah asked Abraham to have a child by her as a way to fulfill God's promise to them to have a child, since they had been unable to have children. Then 14 years later when Abraham was 100, the promised son Isaac was miraculously born to Sarah who at that point was 90. As verse 8 opens we have moved a few years ahead in the life of Isaac. Let's begin by reading verses 8-9 which begins by telling us about Isaac. **⁸ And the child grew and was weaned. And Abraham made a great feast on the day that Isaac was weaned. ⁹ But Sarah saw the son of Hagar the Egyptian, whom she had borne to Abraham, laughing.** Typically at that time this celebration of a child's being weaned would happen between 2 and 3 years old. That would make Ishmael 16 or 17 years old. When it says that the son of Hagar was laughing, the word means more than laughing, more like mocking or making fun of him. Somehow, he was picking on Isaac who like most children of his age likely was not aware of his half-brother's hostile intentions as he mocked his little brother.

The Apostle Paul understood this episode to mean that Ishmael was persecuting Isaac. He used this entire episode of Hagar and Ishmael getting kicked out of Abraham's house to illustrate the position that we as believers have in Christ. Look at [Galatians 4:28-31](#) **28 Now you, brothers, like Isaac, are children of promise. 29 But just as at that time he who was born according to the flesh persecuted him who was born according to the Spirit, so also it is now. 30 But what does the Scripture say? "Cast out the slave woman and her son, for the son of the slave woman shall not inherit with the son of the free woman." 31 So, brothers, we are not children of the slave but of the free woman.** As we continue to read this story, God intends it to show us that as followers of Christ, we should identify with Isaac. That we have been accepted by God through faith in Jesus Christ and adopted into his family. Unlike Hagar and Ishmael were treated by Abraham, God will never cast us out from his family. We are the chosen and rightful heir, and can be assured of God accepting us. In the context of Galatians, Paul is making the point that our acceptance by God is not based on legalism and following the law. Our acceptance by God is based on the finished work of Christ on the cross and our accepting him by faith as our Lord and Savior. While the New Testament tells us that we should identify with Isaac, too many times we feel more like Hagar and Ishmael as they find themselves in the rest of the story.

Let's read verses 10-14 and see how Hagar and Ishmael find themselves as outcasts. **¹⁰ So she said to Abraham, "Cast out this slave woman with her son, for the**

son of this slave woman shall not be heir with my son Isaac.”¹¹ And the thing was very displeasing to Abraham on account of his son.¹² But God said to Abraham, “Be not displeased because of the boy and because of your slave woman. Whatever Sarah says to you, do as she tells you, for through Isaac shall your offspring be named.”¹³ And I will make a nation of the son of the slave woman also, because he is your offspring.”¹⁴ So Abraham rose early in the morning and took bread and a skin of water and gave it to Hagar, putting it on her shoulder, along with the child, and sent her away. And she departed and wandered in the wilderness of Beersheba. As any mother would respond, Sarah is protective of Isaac and angry at Hagar. Remember that Hagar treated her with contempt after having Ishmael since she had a child by Abraham and Sarah did not. Now it is not just Hagar who has offended her, but Ishmael is being a bully towards her child, and her response though understandable, is quite harsh. She wants Ishmael and his mother with him to be kicked out of the family home and removed from any possibility of an inheritance from Abraham.

However, Abraham loves Ishmael, who is still his first born son. He does not want to kick them out. But, in this case, God tells him he should go ahead and do what his wife asks of him and put them out of his household. God supports this move because it is his Sovereign plan that Isaac and his descendants be the one who gets the blessings promised to Abraham. That has always been his plan no matter how Abraham and Sarah tried to bypass it with their own plan. But even as God tells Abraham to concede to Sarah’s demands, we begin to see his care for these this mother and this child who will soon find themselves as outcasts to their own family. God repeats to Abraham the same promise that he has made to Hagar and to Abraham in Genesis 17 that Ishmael would become a great nation. Because of Abraham’s experience with God in bringing Isaac’s birth to pass, he knows this is a promise of God’s preservation of Ishmael and Hagar, and he trusts God’s promise. So, he does as Sarah asks, but without the contempt that she shows towards Hagar and Ishmael.

Abraham is said to have “sent her away.” This is far less strong than Sarah’s demand to “Cast out” Hagar. Abraham did not send her away out of anger as Sarah would have, he sent her away at God’s command, trusting in God’s promise to make a great nation out of Ishmael. We even see that trust in the fact that Abraham sent them with only a little provision, believing that God would provide for them. This would only be possible if God protected this teenage boy and his mother, and Abraham was trusting God to keep his promise. And those sparse provisions soon run out in the desert. Read the next two verses, 15-16.¹⁵ When the water in the skin was gone, she put the child under one of the bushes.¹⁶ Then she went and sat down opposite him a good way off, about the distance of a bowshot, for she said, “Let me not look on the death of the child.” And as she sat opposite him, she lifted up her voice and wept.

Now we see the extent of how destitute these outcasts really are. They are in the desert with no water and no hope of survival on their own. At first glance it seems that she is treating Ishmael like a young child, but remember he is a teenager. But, even as a teenager, he at this point has no way to help them, and she doesn’t want to watch him die. Dying of thirst and malnutrition in a desert environment occurs on average in about 10 days. By this time, they likely were both very weak and unable to move much. She is hopeless. Now, physically, you may not be at that point, but emotionally and mentally we can get to that same place. Due to our circumstances or people in our lives that we feel have “cast us out,” we can find ourselves in that same helpless state. But it is at that

point that we can experience the same thing that Hagar found for herself...that **God answers prayer and acts to keep his promises.**

Read verses 17-19. **¹⁷ And God heard the voice of the boy, and the angel of God called to Hagar from heaven and said to her, "What troubles you, Hagar? Fear not, for God has heard the voice of the boy where he is."¹⁸ Up! Lift up the boy, and hold him fast with your hand, for I will make him into a great nation.** **¹⁹ Then God opened her eyes, and she saw a well of water. And she went and filled the skin with water and gave the boy a drink.** God heard Hagar's prayers and although we are not told that Ishmael was crying, it seems that he was. In fact in the Septuagint, which is the Greek version of the Hebrew Old Testament, the end of verse 16 reads that Ishmael lifted up his voice and wept. The point is that God hears the prayers of his people when they are in trouble. **Psalm 34:18 says, The Lord is near to the brokenhearted and saves the crushed in spirit.** Although it was not God's intention to bring the Messiah to the earth through Ishmael, it was also not his intention to abandon this boy and his mother whose life he is protecting as well. God heard their prayers and cries as well as he had did Abraham's. God doesn't stop at listening, though. The next action we see God performing after "God heard" is that "God opened." He let her see the provision that God had already provided for them in the form of a well. The name of the area called Beersheba has "well" right in the name. Be'er means "well" in Hebrew, the language of the Old Testament. Abraham and Sarah may have abandoned Hagar and Ishmael and cast them out, but they were not outcasts to God. He had already provided for her with this well, and simply opened her eyes to see his provision.

Of course, I'm sure that Hagar did not enjoy going through this. None of us ever want to find ourselves cast out of the groups we are part of, whether its family or social group. But, as Christians, the Bible makes clear that being outcast and rejected and even persecuted by those in the world is a natural part of the Christian life. **1 John 3:13 says 13Do not be surprised, brothers, that the world hates you.** In **2 Timothy 3:12** we are told, **12Indeed, all who desire to live a godly life in Christ Jesus will be persecuted,** and in **Mark 13:13 13And you will be hated by all for my name's sake. But the one who endures to the end will be saved.** But as this story of Hagar and Ishmael reminds us, even if we have been mistreated, it doesn't mean that God has forsaken us. Look at the last two verses 20-21. **²⁰ And God was with the boy, and he grew up. He lived in the wilderness and became an expert with the bow. ²¹ He lived in the wilderness of Paran, and his mother took a wife for him from the land of Egypt.** It seems like the Hagar and Ishmael never returned to Abraham's family and remained outcasts to their only human family. And yet, God's presence was with these outcasts. We know from history that his ancestors became the Arab nations, and Muslims give Ishmael a much more prominent place in the Koran than Jewish and Christian Scripture does. But although the generations that came from him may have rejected his God, Ishmael and Hagar experienced the personal presence of God that sustained them when everyone in their lives had rejected and cast them out.

Today, whatever you are going through in your life, no matter how you are being treated or rejected, you can know that God is with you, too. There is a beautiful verse that shows the comforting, hope giving presence of our God in the Old Testament book of prophecy, **Zephaniah 3:17.** Here we read, **The Lord your God is in your midst, a mighty one who will save; he will rejoice over you with gladness; he will quiet you by his love; he**

will exult over you with loud singing. God is right there wherever you are. He is strong enough to save you from whatever you are going through. He rejoices in you as his creation who bears his own image, no matter how others are treating you. He comforts and quiets your anger and hopelessness by surrounding you with the loving arms of a perfect father. And finally, he treats you as a proud father who loudly proclaims his love for you no matter what others may think. God wants to surround you with his love in this way. This relationship to God the father is only possible through faith in God the Son, Jesus Christ. In his death on the cross as [Romans 5:8](#) tells us, [God shows his love for us in that while we were still sinners, Christ died for us](#). God loves you, and desires to be in a father/son or daughter relationship with you. He makes that possible by Jesus Christ dying on the cross in your place and taking your and my sin on himself and taking the punishment that we deserved. That's what we remember today as we celebrate this Lord's Supper or communion where we commune and come together spiritually with brothers and sisters in Christ around this meal. We once again will use the prepackaged elements, which the Deacons will share from the four corners of the sanctuary. Once we pray and everyone is served, we will eat together and then drink together. We invite you to join us if you know Jesus Christ and have been obedient in baptism. For parents the best way to teach your children the importance of communion is not letting them participate if they are not ready. Let's pray and then unite our hearts in remembering Christ's death.